

●ブックトークシナリオ

【テーマ】 時間がない！でも読みたい！！ ～朝の読書にぴったり～

【対象】 高校生

【所要時間】 約20分

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	きまぐれロボット	星新一／作 和田誠／絵	理論社	2005
2	西遊記 上・中・下	吳承恩／著 君島久子／訳 瀬川康男／画	福音館書店	2004
3	科学と科学者のはなし	寺田寅彦／著 池田了／編	岩波書店	2000
4	ポケット詩集	田中和雄／編	童話屋	1998
5	とべバッタ	田島征三／作	偕成社	1988

【シナリオ】

●導入

突然ですが質問です。最近、読んだ本で面白かった本のタイトルを教えてください。

こう言われて、パッと思いつかなかった人、手を挙げてください。

挙手した数を数え、多いか、少ないかコメントする

高校生になると、勉強や部活で忙しくなり「本が読みたい」と思っても、時間がないと感じている人が多いかもしれません。そこで、今日は「時間がない！でも読みたい！」というテーマで、朝の読書の時間や休み時間、つまり5分か、10分しか読む時間がない…そんなあなたにおすすめな本を紹介します。

1 『きまぐれロボット』

まず最初は、5分か、10分で読める本です。

表紙を見せる

小説の中でも最も短い短編「ショートショート」の名手、星新一の作品から「きまぐれロボット」を紹介します。

p.43～48「きまぐれロボット」全文を読む

星新一の短編は、ロボットや宇宙人、新しい薬や機械など、科学ネタ、宇宙ネタがたくさんあります。奇妙で、意外性のある作品が多いので、きっと気に入ったものに出会えるはずです。短くてあっという間に読め、オチが楽しい星新一のショートショートをぜひお試しください。

2 『西遊記』上・中・下

次は、ショートショートより少し長い短編を集めた本を紹介します。

表紙を見せる

『西遊記』です。アニメやゲームの元になった物語で、皆さんご存じのとおり、主人公、孫悟空が、ちょっかい 猪八戒とさごじょう 沙悟浄と共に、さんぞうほうし 三蔵法師を助け、大活躍します。

孫悟空が如来と賭けをする有名なシーンを読みます。

p.129 7行目～8行目を読む 【「ではひとつ、そちとかけをいたそう。(中略)そちの勝ちじゃ。」】

如来がこう言うと

p.129 12行目～14行目を読む 【悟空はこれを聞いて、ひそかに笑い、(中略)十万八千里も飛べるというのにー。】

と賭けにのり、きんとうん 筋斗雲に乗って、如来の手のひらから飛び立ちました。そして世界の果てまでやっ

てきました。

p130. 6行目～p131 1行目を読む 【悟空がぐんぐん飛ばしていくと、(中略) さあ、飛び出して行って、いま帰ったぞ。】

悟空は意気揚々と戻りましたが、この後、大どんでん返しがあります。悟空は如来の手のひらから脱け出せたのでしょうか？それとも…続きが気になる人は、『西遊記』を読んでみましょう。

3 『科学と科学者のはなし』

先程紹介した『きまぐれロボット』や『西遊記』は物語です。「物語はどれも苦手だ」という人におすすめなのが「エッセイ、随筆」です。身近な現実世界の出来事を、短い文章で書いたものです。

表紙を見せる

この本は物理学者の寺田寅彦が書いた科学エッセイです。前書きで池内了が書いているように

p9 15行目～p10 1行目を読む 【寅彦の随筆には、ふだん(中略) 科学の法則や原理が発見できるというものが多くあります。】

例えば、「金平糖」というエッセイ。皆さんご存じの、お菓子の金平糖です。寅彦は金平糖ができるまでに不思議なことがあると書いています。読んでみます。

p98 10行目を読む 【なぜあのように角を出して成長するかが問題である。】

もう一つ、

p99 15行目を読む 【おもしろいことには金平糖の角の数がほぼ一定している。】

不思議ですね。この不思議に寅彦はどんな科学的な理由を答えたのでしょうか？

裏表紙 5行目～6行目を読み、表紙を見せる 【科学的に考えることのおもしろさ】

を伝えるこのエッセイ『科学と科学者のはなし』には「金平糖」以外に、「花火」「金曜日」「人魂の一つの場合」などいろいろなタイトルが入っています。気になったタイトルからどうぞ。

4 『ポケット詩集』

次は勉強の息抜きにぴったりの詩の本です。

表紙を見せて

掲載された詩を選んだ田中和雄さんおすすめのこの本の使い方は、

p.4 1行目を読む 【子どもたち、詩を読みなさい。】

p.4 6行目を読む 【いい詩を読むと、ふむふむそうか、となにかがわかります。】

p.4 8行目～p5 5行目を読む 【自分の存在に疑問をもったら(中略) 自分の頭をガンと殴りつけてやりましょう】

では、考えることをサボってすれっからしになったと気づいた時にお薦めの詩を1つ読みます。

p.146～p.148 「自分の感受性くらい」を読む

部活や勉強の合間に気分を変えたい時、この詩の本を開いてみてください。

5 『とべバッタ』

最後に紹介するのはデザインが優れていて大迫力の絵本です。

絵本を読み聞かせる

●まとめ

今日は「時間がない！でも読みたい！！」というテーマで本を紹介しました。とても短いけれどオチまでしっかり楽しめる短編集『きまぐれロボット』孫悟空の活躍を描いた『西遊記』身近な不思議を考えることができる科学エッセイ『科学と科学者のはなし』息抜きに読める『ポケット詩集』最後に絵本『とべバッタ』。空き時間を見つけてぜひ読んでみてください。

【その他の本】こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

- ・『54字の物語』(氏家雄介/作 佐藤おどり/絵 PHP 研究所 2018年)
- ・『アラビアン・ナイト』上・下(ディクソン/編 中野好夫/訳 岩波書店 2001年)
- ・『雪は天からの手紙』(中谷宇吉郎/著 池内了/編 岩波書店 2002年)
- ・『ぜつぼうの濁点』(原田宗典/作 柚木沙弥郎/絵 教育画劇 2006年)